



2023 年 6 月 5 日
社会福祉法人清流
さつきの家
施設長 小川裕子

「さつきの家」だより

6 月です！梅雨入りしましたね。2 年目の「さつきの家」は、ますます賑やかになっています。さて、私事ですが、我が家では嬉しいことがありました。昨夏、もらったメダカ（稚魚）が成長し、冬を越え春を迎えて産卵し、そして無事に孵化しました。小さな小さなメダカちゃんが 50 匹くらい、元気に泳いでいます。大きくなあれ。育ててみたい人、どうぞ♡差し上げます。広げたい！メダカの輪。このメダカ、なんだか「さつきの家」の成長と、重なります。

～福祉って、何だろう？～

小学 3 年生の孫が持っていた辞書をひいてみました。そこには、福祉＝「たくさんの人のしあわせ」と、書かれてあり、なんだかほっこりしました。私は、障害のある彼らと一緒にいることで、日々幸せを感じます。そうです。彼らは周りの人も幸せにしてくれます。

私は、「さつきの家」のみんなに、いつも感心しています。彼らは人を許せるからです。日々、いろんなビックリな出来事があるのですが、失敗してしまった仲間が勇気を出して、自分の失敗を認めて、「ごめんなさい。」を相手に伝えると、必ず「いいよ」って、許してくれます。「いいよ」と言ってもらえる安心感があるから、謝れるのかもしれませんが。人を許せる、って通常とても難しくありませんか？許せる彼らの魂の高さに敬服するのです。

「許せるのは、わかってないからでしょう。」と、知的障害による理解不足だからこそその許しだと思える人もいるかもしれません。うーん、そうかなあ～。「相手を許さない。」と、意固地に思う健常者の方が、人として残念↓なのではないでしょうか。

「我慢する」力も…です。日々、たくさんの欲望に負けそうになりませんか？美味しいものが食べたい。面白いことに会いたい。旅に出たい。ごめんね。障害の重いあなた達は、いつだって我慢ばかりだよ。我慢を当たり前にして日々を生きてる。あなた達が、思いっきり今の自分のしんどさを吐露したら、どんなことを発してくるのでしょうか…。

でも、違う違う。きっと、あなた達は、知的・肢体・発達障害という重い兜を脱いだとしても「いいよ。」って全てを許してしまう。そう、だからあなた達を尊敬します。心から♡

仲間の誕生日

山本 璃都くん 20 歳のお誕生日おめでとう！

2 年目の先輩になった山本さんは、ぐんと大人になりました。「教え導く力」に溢れています。みんなのために、自分の力を惜しみなく潔く発揮してくれています。得意な絵本の読み聞かせをはじめ、少し苦手だった手先を使った仕事にも諦めずに挑戦し続けています。カッコいいです。心揺らして、もっともっと成長してください！

1

<新しい職員の紹介>6 月から、少しずつ「さつきの家」にも男性の風が吹いてきます。

屋敷誠司（やしきせいじ）さん

6 月から週に 2 回程度、「事務」を担当してくださいます。頼っていきたいです。どうぞよろしくお願いします。

吉川楓里（きっかわほうり）さん

6 月から、ボランティアでさつきの家に来てくれます。若手です。明日の福祉の担い手をみんなで育てましょう。期待しています。

繁山英将（しげやまひでまさ）さん

6 月から週 1 回水曜日に来てくださいます。優しい感性の持ち主です。仲間にとって、男性による同性介助が少しずつ広がるのが嬉しいです。

予告

※ 7 月から、月 1 回午前中にクラスごとに「身障者センタープール」に挑戦してみようと思っています。水着・帽子・バスタオル・プールバックをご用意ください。

※「さつきの家だより」は、地域のみなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信していきます。ご意見等聞かせていただけると幸いです。

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）
082-942-4779（FAX）
satsuki-himawari@galaxy.ocn.ne.jp（メール）